

感染症の流行・発生状況について
2023年第49週(12月4日～12月10日) 診断分

● 2023年第49週の警報・注意報

警報	注意報
・咽頭結膜熱 (県内全域) ・インフルエンザ (那覇市保健所管内)	・インフルエンザ(八重山保健所管内)

● 2023年第49週全数報告について(南部保健所管内)※先週末までの報告からの追加も含む

《二類感染症》 ・結核 4件	《五類感染症》 ・梅毒 1件
-------------------	-------------------

● ヒトメタニューモウイルス感染症について

昨年度、南部保健所管内において、乳幼児を中心にヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症に伴う急性細気管支炎が認められており、人工呼吸器を必要とする重症例も認められました。hMPV感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、法)で規定される1～5類感染症ではないため、沖縄県における流行の実態が把握できておらず、流行状況の把握目的にて、南部保健所では法第15条第1項に基づき、昨年度7月から積極的疫学調査を実施したところです。

本年度においても、南部管内8小児科定点の協力の下、ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症の流行をいち早く感知するため、引き続き積極的疫学調査を実施しています。

他の感染症とあわせて、以下の一覧表で還元していますので、ご参考にさせていただきます。

● インフルエンザの流行状況について

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点からの報告数が、2023年第48週(11月27日～12月3日)に定点当たり8.17人(定点医療機関54カ所、報告数441人)となり、インフルエンザ警報の終息基準値である10人を下回りましたので、インフルエンザ警報を解除します。

例年、インフルエンザは1～2月に流行のピークを迎え、全国では増加傾向にあることから、今後、更なる流行の拡大を抑えるため、「手洗い」、「マスク着用」、「予防接種」等の感染予防策について、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

※定点医療機関とは、インフルエンザなど18の感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

疾病名	定点区分	46週	47週	48週	49週	49週
		11/13	11/20	11/27	12/4	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	639	633	441	522	(9.67)
咽頭結膜熱	小児科	159	151	183	170	(5.48)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	75	80	90	114	(3.68)
感染性胃腸炎	小児科	72	50	64	60	(1.94)
水痘	小児科	5	2	8	3	(0.10)
手足口病	小児科	32	42	25	31	(1.00)
伝染性紅斑	小児科	1	0	0	6	(0.19)
突発性発疹	小児科	5	4	9	4	(0.13)
ヘルパンギーナ	小児科	7	3	2	6	(0.19)
流行性耳下腺炎	小児科	3	1	2	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	21	14	21	10	(1.25)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	0	1	1	(0.14)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	2	0	1	(0.14)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	1	0	0	3	(0.10)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	78	73	73	102	(1.89)
ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症						

南部保健所管内報告数

46週	47週	48週	49週	49週
145	122	101	123	(8.79)
32	44	45	31	(3.88)
26	29	25	38	(4.75)
20	12	17	17	(2.13)
3	1	3	2	(0.25)
16	11	10	10	(1.25)
1	0	0	1	(0.13)
1	1	0	0	(0.00)
4	0	1	6	(0.75)
1	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
16	12	11	8	(2.67)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	1	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
24	22	16	28	(2.00)
0	1	0	0	(0.00)

警報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。